

内訓

大藏省主税局長目賀田種太郎

今般日韓協約第一項、規定ニ由リ貴官ヲ韓國  
財務顧問トシテ派遣相成候ニ就テハ大要左、  
如ク心得ラルヘシ

一、帝國政府ノ韓國ニ對スル大体、施設項目ハ  
別紙甲乙兩冊ノ如クナルニ付貴官ハ其職務  
ヲ執行スルニ於テ之ニ遵由センコトヲ要ス尤モ  
貴官ノ關係スヘキ職務權限ハ財政ノ範圍ニ  
止マルヘキコト勿論ナリ



二、財政監督及整理等ニ關スル標準ハ大略別紙  
丙號、如シ貴官ハ赴任ノ上實況ヲ查覈シ事  
ノ輕重緩急ニ應シテ其實行ヲ圖ルベシ尤別紙  
丙號中第十四項乃至第十七項ハ其實行ニ關  
シ財政以外ニ考量ヲ要スルコト多キヲ以テ貴  
官ハ右數項ノ實行ニ付發案ヲ為サハルモノトス  
三、貴官ハ重要ノ事項ニ付テハ毎ニ駐韓帝國公使  
ト協議ノ上立案若クハ執行シ尚帝國政府ノ  
訓令ヲ要スルモノハ同公使ヲ經若クハ直接ニ  
外務大臣ニ稟議シ其指揮ヲ待ツベシ

四、韓國財政ニ關スル帝國政府ノ方針ハ時々駐  
韓公使ヲ經テ訓令スルコトアルベク貴官ハ又  
財政上ノ情況ニ付同公使ヲ經テ時々外務大  
臣ニ報告スベシ

明治三十七年九月八日

外務大臣男爵小村壽太郎

